

令和 6 (2024) 年度函館市水道事業報告書

1 概 況

(1) 総 括 事 項

令和 6 年度の給水人口は、前年度に比べ3,692人減少し、234,269人となり、給水普及率（給水区域内人口に対する給水人口の割合）は99.9%となった。

また、水道 1 日平均給水量は、前年度に比べ551立方メートル減少し、89,493立方メートルとなり、温泉 1 日供給量は、前年度に比べ75立方メートル減少し、3,353立方メートルとなったほか、年間販売電力量は、前年度に比べ168,170キロワット時減少し、1,377,036キロワット時となった。

事業収益については、水道料金や電力販売収益の減少等により、前年度に比べ12,645,874円の収入減（0.3%減）となり、総額4,479,589,915円となった。

事業費用については、委託料や修繕費の増加等により、前年度に比べ116,379,234円の支出増（2.7%増）となり、総額で4,404,103,664円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ129,025,108円減少し、75,486,251円の純利益を生じた。

建設改良事業については、赤川高区浄水場等更新整備事業では赤川高区浄水場プラント設備更新整備等事業を、原水及び浄水施設事業では旭岡浄水場整備事業等を、配水施設事業では配水管整備事業等を、東部地区水道施設事業では南茅部地区取水施設整備事業等を、温泉供給設備事業では温泉供給管の布設替工事等を予定どおり施行した。